

産業廃棄物の再資源化に関する事例発表
グリーン・ゲート株式会社



Green Gate



C 目次

CONTENTS

- 1 会社概要
- 2 施設概要
- 3 事業の特色
- 4 再資源化 事例紹介
- 5 まとめ



1. 会社概要



- ① 会社名 グリーン・ゲート株式会社
- ② 設立 2015年
- ③ 本社 金沢市間明町2丁目24-1
- 工場 石川県白山市湊町井1番地21
- ④ 資本金 9,000万円
- ⑤ 事業内容
プラスチックリサイクル事業及び
リサイクル製品の販売
- ⑥ 許認可
産業廃棄物処分業 (廃プラスチック類)
産業廃棄物の収集運搬 (廃プラスチック類)



Green Gate

2. 施設概要 白山工場



Green Gate

3.事業の特色

- ① 行き場のない産業廃棄物に『**新たな価値**』を生み出します
- ② 環境負荷が高い『**埋め立て**』 『**焼却**』は基本行わない
- ③ 産業廃棄物の『**地産地消**』を目指しています
- ④ お客様の『**コスト負担削減**』も継続的なりサイクルには必須





行き場のない産業廃棄物に『**新たな価値**』を生み出します

一般的な手法 既存の産業廃棄物処理の流れ



新たな手法 産業廃棄物を資源化





環境負荷が高い『埋め立て』『焼却』は基本行わない



埋立用地が減少してきています。美しい石川の環境を維持する為
廃棄物の埋め立ては行いません



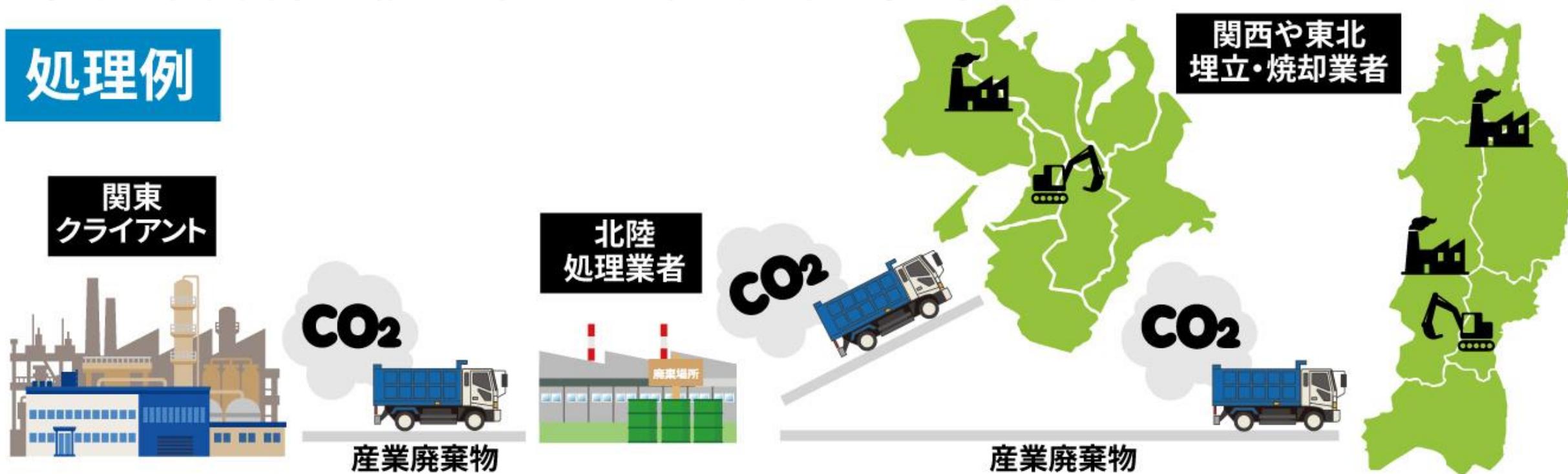
焼却は日本では『サーマルリサイクル』と呼ばれますが
海外では『サーマルリカバリー』（熱回収）と呼ばれています
しかし、リサイクルとはみなされません
グリーン・ゲートはマテリアルリサイクルに特化しています



♻️ 産業廃棄物の『**地産地消**』を目指しています。

石川県で排出される廃棄物は同県内で処理、再資源化を目指しています
結果、再資源化と輸送に伴うCO2削減効果が最大化できます

処理例



Green Gate

 お客様の『**コスト負担削減**』も継続的なリサイクルには必須

 最近聞かれる、カーボンニュートラル、SDG s など企業活動の中で環境に配慮する事が求められています。

 更に、『**プラスチックに係る資源循環促進法**』が令和4年度より施行
排出抑制や再資源化に関して国が基準を策定する
事業者への勧告・公表・命令の厳しい措置も

 環境に配慮する活動は同時に企業の利益に直結しないコストが発生
大きな課題



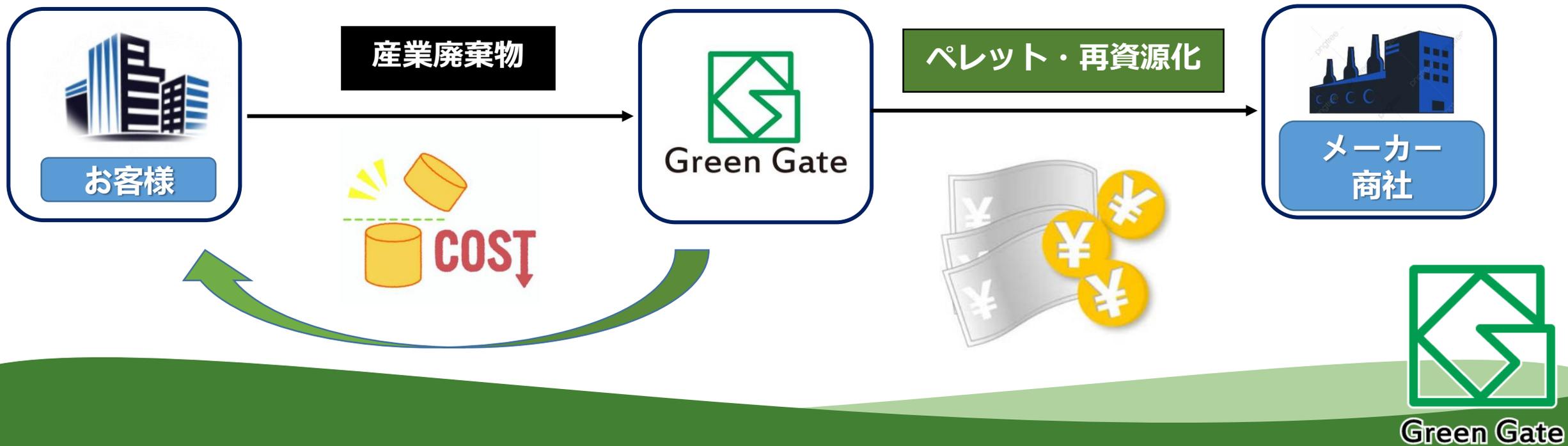
Green Gate



お客様の『**コスト負担削減**』も継続的なリサイクルには必要

では、どのようにして**コスト削減**と**リサイクル**を両立？

お客様から回収した産業廃棄物を**再資源化**を行い**再販**します
その対価の一部をお客様に還元する事で処理費用の削減を行います



4.再資源化 事例紹介（繊維関連会社 2社）



排出事業者の共通の課題



①処理費用が近年上昇傾向であり、処理費用を少しでも抑えたい



②排出される廃プラスチック類（PET）は単一素材で汚れていない
素材として再生利用したい



③マテリアルリサイクルしたいが、どのような手法があるのかわからない
（現在は固形燃料（RPF）の材料としてサーマルリサイクル）
マテリアルリサイクル可能な業者に関する情報もない



④そもそも会社として、環境に配慮した取り組みが求められている



♻️ 排出事業者の対応 ～解決に向けて～

プラスチック資源循環アドバイザー事業を活用

step1

自社の産業廃棄物の
排出状況や課題を整理
調査票にて回答

どのような種類の廃棄物
がどのような工程から
どれだけ発生するのか

step2

県担当者に相談

処理費用を抑えたい
リサイクル可能か？
再資源化業者の情報

step3

産業廃棄物の
排出状況課題の
詳細を情報提供

現地訪問してもらい
排出状況を説明

step4

プラスチック資源
循環アドバイザー
によるアドバイス



再資源化への取り組み

プラスチック資源循環アドバイザーによるアドバイス

step1

排出される廃プラスチックの種類、性状、量を詳細に把握する

step2

排出される廃プラスチック類の分別の徹底

step3

近隣のプラスチック再生事業者情報の提供（マッチング）

step4

再生事業者によるサンプル試験。
廃プラスチック類の情報提供



排出事業者

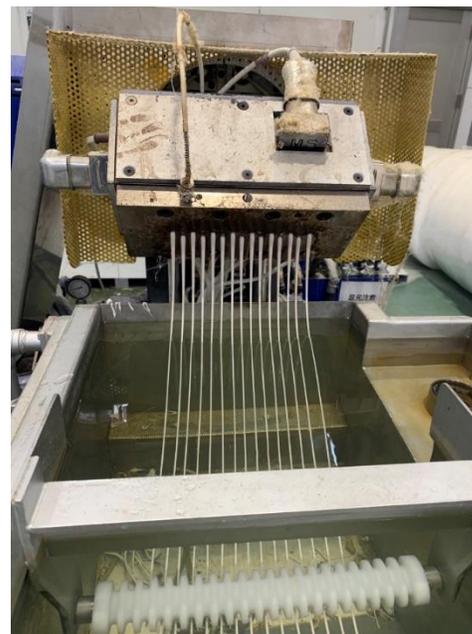


再生事業者



Green Gate

♻️ 再資源化への取り組み (サンプルテスト 評価)



色々な素材
(単一素材)

破碎作業

溶融機で溶融

ストランド化

再資源化 評価



Green Gate



排出事業者における課題 ～成果～



- ① 処理費用が近年上昇傾向であり、処理費用を少しでも抑えたい
◎ 処理費用の削減に目途がたった 以前よりコストが下がった



- ② 廃プラスチック類（PET）は単一素材で汚れていない。素材として再生利用したい
◎ 分別の徹底により、マテリアルリサイクルを実現



- ③ マテリアルリサイクルしたいが、どのような手法があるのかわからない
（現在は固形燃料（RPF）の材料としてサーマルリサイクル）
マテリアルリサイクル可能な業者に関する情報もない
◎ アドバイザーによる再資源化業者とのマッチング



- ④ そもそも会社として環境に配慮した取り組みが求められている。
◎ 取り組みが強化され、対外的にも発信可能になった
- ・ 企業価値の向上（CS・ES）
 - ・ 金融機関、投資化からの信頼獲得（ESG投資）



5.まとめ

- ① リサイクルを推進することは、企業にも多くのメリットがある
(コスト削減・企業価値の向上・金融機関等の信頼)
- ② リサイクルには排出する素材の情報をよく理解する事が重要
- ③ リサイクル率をあげるには分別の徹底が重要

限られた資源を有効活用する為に、リサイクルに取り組みましょう！





THANKS

ご清聴ありがとうございました



Green Gate